



# 大津小たよい

2021. 6. 14

## 令和 3 年度体育会を開催しました！



本年度の体育会を、8日(火)に無事開催することができました。当初は、4日(金)に予定しておりましたが、雨天のため予備日に開催しました。金曜日とは打って変わって、梅雨の晴れ間の素晴らしい天候に恵まれました。平日にも関わらず、多くの保護者の方に来校いただき、体育会の雰囲気盛り上げていただいたことに大変感謝いたします。ありがとうございました。

さて、体育会でのお子様様のはいかがだったでしょうか。ぜひとも見ていただきたいのは、一生懸命に最後まで走り切る大津の子どもたちの姿です。一番であっても、最後であっても変わらず、がんばり切れる子どもであってほしいと願っています。走ることに対して苦手意識を持つお子様もいたと思います。それでも今ある力で一生懸命走る子どもになってほしいと切に願っていました。多くの子どもたちがそうであったと捉えています。「一生懸命がかっこいい」のです。一番もかっこいいのですが、一生懸命がかっこいいのです。競技をしていて、思わず声援や拍手をしたくなるようなそんな大津の子どもに成長してくれたらと体育会を見ながら考えていました。保護者の方にも、ご理解いただきご家庭でもお話いただくと大変喜びます。

各学年、徒競走と団体種目それぞれ一つずつと、アピールタイム(応援合戦)で構成しています。コロナ禍でも実施可能な体育会のあり方や体育会のねらいを達成するという視点で見

直して今回のような形をとりました。今後は、現在のような体育会が県内でも主流となっていくと考えています。

## 授業研究会も開催しました！



出雲教育事務所の指導主事2名をお招きして、授業研究会を開催しました。本校は、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善プロジェクト事業を島根県からの委託を受けて3年前から取り組んでいます。本年度はその3年目です。算数と道徳を研究教科等として、秋に研究成果を県下に発表する予定です。今回は今年度第1回目の研究授業でした。転勤してきた者も大勢おりますので、これまでの研究の様子分かるように授業を提供していただきました。

第1回目は算数の授業研究でした。問題は『あめが6こあります。2・・・』問題の紙が破れて続きが分からなくなりました。どんなわり算だったのかな！？と問題文を一人ひとり作るところからスタートしました。問題文を自分で作りましたので、やる気が違います。最後まで集中して学習に取り組んでいました。また、良くつぶやきましたし、手を挙げて発表もしていました。とても活気のある授業でした。授業後の協議では、指導主事の方から授業についての改善点についても貴重なご意見をいただきました。

未来を生きる子どもたちは、これまでに経験のしたことのない課題に直面していきます。人口減少の社会を生き抜く、気候変動の中で世界の人々と協働して課題解決を図っていく、また、新しい感染症と戦っていくなどなど・・・そこには、決まった答えは用意されていません。それぞれの課題について、主体的に取り組むいろいろな世代の方と、あるいは、世界の人々と対話し協働して解決を図っていくこととなります。意見の相違の中で粘り強く活動し、落としどころを探っていくこととなります。小学校の教育だけで完結するわけではありませんが、そのような態度や力を小学生なりに身に付けてやりたいと思います。